

## 第39回有馬賞について

NHK交響楽団「有馬賞」は、故・有馬大五郎氏(元当団副理事長)の生前の音楽界への貢献と当団育成の偉業を末永く記念するため、1981年(昭和56年)に設けられました。当団の発展に顕著な功績をおさめられた関係者、関係団体、当団の職員を授賞の対象としています。

第二次世界大戦以前からヨーロッパの音楽家と頻繁に交流を続けていた有馬氏は、著名アーティストの招聘に尽力するなど、日本の音楽界の礎を築くため、その黎明期に活躍した人として知られています。

今年度は選考委員会に於いて討議を行った結果、下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

なお、第39回「有馬賞」の授賞式は、10月4日(金)にN響高輪演奏所で行われます。

---

## 第39回「有馬賞」受賞者

井上道義(指揮者)

1978年にNHK交響楽団と初共演して以来、定期公演ほか国内外で数多くの共演を重ねた。音楽への真摯な取り組みと、作品の本質に迫る洞察に満ちた演奏は多くのファンを魅了し、当団の芸術的表現力の向上に多大な貢献をした。